

「子育て王国」らしく

米子市は、子育て支援にもっと力を入れてほしい!!



©カクサン部!

保育料が高く、2人目を産めない

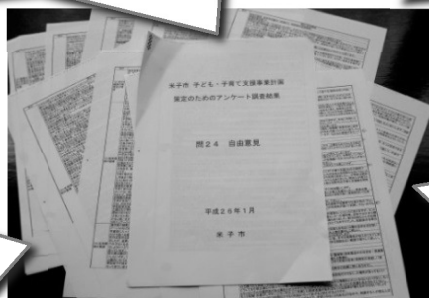
- 保育料が高く、つぎを産む決意ができません。
- 兄弟同じ園に通えるようにしてほしい。
- 土曜日でも学童保育をして欲しい。
- 子育て支援センターは、土・日も開放を(境港はやっている)。
- 認可保育所をふやして。

病児保育を充実して

- 米子に来て、(医療費の)負担があるのにびっくり。
- 病児保育を利用したいが、利用料が高い。
- 発達相談を受けているが、診断に5ヶ月もかかった。

補助教材費が高い

- 義務教育なのに補助教材費が高すぎる。
- 就学援助の支給額が低い。もっと充実して。



「子ども・子育て支援事業計画策定のためのアンケート調査結果」
(米子市、H26年1月実施)

産前産後ヘルパーを

- 横浜では産前産後ヘルパーがあつて、助かりました。
- 父親の労働時間を見直し、もっと子育てにかかわれるようにして。

遊び場が少ない!!

- 県外から来ましたが、雨天時屋内で遊べる場所がない。
- 子どもが安心して遊べる公園が少ない。

あふれる切実な思い

米子市が実施した「調査」の「自由意見欄」をはじめ、いま、子育て支援の充実を求める切実な声があふれています。



マジ!? 日南・江府・若桜町など 保育料無料化へ

米子市で保育料を半額にするには、年約4億6千万円。県がその1/2を負担すれば、2億3千万円。市の年間予算約600億円のわずか0.4%。市議会がその気になり、市長を動かせば実現可能です。

願い実現へ
力をあわせて
がんばります

日本共産党

《連絡先》



市議会議員

石橋よしえ

TEL28-5436、24-4811

署名を広げて、子育ての思いを市政に迫りましょう。

明るい米子

2014年6月号外 日本共産党米子市委員会発行、米子市両三柳 811

要望書

米子市長 野坂 康夫 様

1. 「保育料を半額に」「子どもの医療費完全無料」など、子育て支援にもっと力を入れてください。

氏 名	住 所



市町村でこんなに違う子育て支援

「子育て王国」をかかげる鳥取県で、市町村の子育て支援に大きな差があり、米子市がいちばんきびしい!!——米子市が率先して国のいいなりになり、子育てへの公的責任を放棄する「民営化」路線を走っているからです。

境港市より
年7万円も高い
米子市の保育料

保育料(3歳未満児) 所得税2万円以上 4万円未満の世帯	
米子市	30,000円
鳥取市	24,000円
倉吉市	22,500円
境港市	23,800円

学童保育・土曜日なしも米子市だけ

運営主体が市町村の場合		
	利用料 (月額)	土曜日 開設
米子市	3,500円	×
境港市	3,500円	○
日吉津村	3,000円	○
大山町	3,000円	△
南部町	3,500円	△
伯耆町	3,000円	○
日南町	200円/日	△

注1) 毎週土曜日開設は○、一部の土曜日開設は△、土曜日開設なしは×。

注2) 米子市では、NPO法人や民間施設で土曜日保育も行っていますが、利用料は月3,500円～15,000円。



病児保育でも

米子市
2,500円/日
松江市
1,000円/日



若桜・日南・江府など7町が 保育料を軽減、無料化へ

若桜町	第1子から無料
三朝町	第2子は第1子の半額、第3子以降は無料
琴浦町	第2子は第1子の半額、第3子以降は無料
大山町	第3子以降の2歳児以上を無料に
南部町	保育料を1人あたり最大47%減額
江府町	第1子、第2子は給食費のみ、第3子以降は無料
日南町	第1子は半額、第2子は1/3、第3子以降は無料

ごみ袋代も米子市がいちばん高い

ごみ袋代 (大1枚)		
米子市	40L	62円
鳥取市	45L	60円
倉吉市	45L	30円
境港市	40L	41円



消費税増税を上乗せしたのも米子市だけ

就学援助も他市の半額

支給費目	対象学年	米子市	鳥取市	倉吉市	境港市
新入学用品費	小学校 1年	9,680	19,900	19,900	19,900
	中学校 1年	11,110	22,900	22,900	22,900
学用品費	小学校 1年	5,390	11,100	11,100	11,100
	小学校 2~6年	6,490	13,270	13,270	13,270
	中学校 1年	10,560	21,700	21,700	21,700
	中学校 2~3年	11,550	23,870	23,870	23,870

(平成25年度、単位:円)

陳情への態度(◎:賛成、×:反対)

陳情への態度(◎:賛成、×:反対)	共産	自民系	公明	民主系 その他
就学援助制度の充実を求める陳情 2012年12月議会	◎	×	×	× (一部◎)
最低賃金引き上げと中小企業支援策の拡充を求める陳情 2012年6月議会	◎	×	×	× (一部◎)
新たな保育制度改悪の導入に反対し、すべての子どもの健やかな育ちの保障を求める陳情 2010年9月議会	◎	×	×	×

市の一般会計予算は年600億円、その1~2%をやりくりすれば、子育て支援は充実できます。さらに、自由に使える財政調整基金も13億7千万円(8年前の3倍)たまっています。

こんななかでも

みなさんの声・運動と力をあわせ ねばりつよくがんばって実現

日本共産党

「中学校給食の実施」「中学校卒業まで医療費を助成」「春・夏・冬休みも学童保育を実施」など、自民系・公明党など他の会派が冷たい態度をとるなかでも、日本共産党はみなさんの声や運動と力をあわせ、ねばりつよく要求して実現してきました。

ただちに
調査・提案し
改善

保育園全室にエアコン設置

猛暑の4年前、「子どもが暑さでグッタリ」との訴えを受け、共産党市議はすぐ現場に…。市立保育園には一部の部屋にしかエアコンがなく、お昼寝もその部屋にぎゅうぎゅうづめ。議会で改善を要求、全室にエアコン設置が実現。

給食の牛乳が「マズイ」 の声をうけて、市・県を動かす

今年度に入って早々、「給食の牛乳がまずい」という子どもたちの声…。共産党市議がFBを通じて知り、市教委に確認すると、国・県の指導による入札で、県外メーカーの牛乳に切り替わっていました。「『地産地消』にも逆行する」と市・県に改善を申し入れ、市・県は県内産の牛乳に戻すよう改善を約束しました。